

令和 7 年用なす病害虫防除基準

発行：J A さ が え 西 村 山
さがえ西村山野菜振興協議会

※殺虫剤を散布する場合は、訪花昆虫に対する薬剤ごとの安全使用基準を徹底する。

防除時期	対象病害虫名	RAC	防 除 方 法		〔収穫前使用日数／使用回数〕	注 意 事 項
1 定 カ 月 前 植 定 植 時	青 枯 病 半 身 萎 ち ょ う 病	8F	本畑の土壤消毒 バスアミド微粒剤 [㊟] 10 a 当たり 30kg〔は種又は定植21日前まで／ 1 回〕を均一に散布して土壌混和する。			1. 連作は避ける。 2. 排水対策を徹底する。
	ネキリムシ類	1B	カルホス粉剤 10 a 当たり 6 kg〔は種時又は植付時／ 2 回以内〕を土壌表面散布土壌混和する。			1. 定植前から除草対策の徹底をはかる。
	アブラムシ類	4A 4A	ベストガード粒剤 株当たり 2 g〔定植時／ 1 回〕植穴処理土壌混和 アドマイヤー 1 粒剤 株当たり 2 g〔定植時／ 1 回〕植穴又は株元土壌混和	のいずれかを施用する。	1. 茎葉・根に薬剤が直接ふれないように注意する。	
定 植 後	半身萎ちょう病	1	ベンレート水和剤 500倍（20 g／10 ℓ）〔定植後～収穫14日前まで／ 3 回以内〕を株当たり200～300ml株元に土壌かん注する。		※ベンレート水和剤は収穫30日前までに使用する。	
6	褐 色 腐 敗 病	2I	ランマンフロアブル 2,000倍（5 ml／10 ℓ）〔前日まで／ 4 回以内〕	のいずれかを10 a 当たり150～300 ℓ 散布する。	1. 発生の多いところでは高畦栽培する。 2. 排水対策をはかる。 3. ホライズンドライフロアブル、ファンタジスタ顆粒水和剤、アミスター20フロアブルは同一成分とみなし耐性菌出現防止のため総使用回数は2回以内とする。 4. ホライズンドライフロアブルは汚れる場合がある。	
		27,11	ホライズンドライフロアブル 2,500倍（4 g／10 ℓ）〔前日まで／ 3 回以内〕			
		U17	ピシロックフロアブル 1,000倍（10ml／10 ℓ）〔前日まで／ 3 回以内〕			
		40	レーバスフロアブル 2,000倍（5 ml／10 ℓ）〔前日まで／ 3 回以内〕			
月	灰 色 か び 病	7	パレード20フロアブル 2,000倍（5 ml／10 ℓ）〔前日まで／ 3 回以内〕	のいずれかを10 a 当たり150～300 ℓ 散布する。	1. セイビアーフロアブル20、ファンタジスタは褐色斑点病にも登録がある。	
		12	セイビアーフロアブル20 1,000倍（10ml／10 ℓ）〔前日まで／ 3 回以内〕			
		M7,19	ダイアメリットD F 1,500倍（6.6 g／10 ℓ）〔前日まで／ 3 回以内〕			
		1I	ファンタジスタ顆粒水和剤 2,000倍（5 g／10 ℓ）〔前日まで／ 3 回以内〕			
5	ハ ダ ニ 類 (チャノホコリダニ)	20B	カネマイトフロアブル 1,000倍（10ml／10 ℓ）〔前日まで／ 1 回〕	のいずれかを10 a 当たり150～300 ℓ 散布する。	1. 干ばつのときは、特に発生が多くなるので注意する。 2. コロマイト乳剤は単用で使用し、展着剤は加用しない（水なすに使用しない）。 3. コロマイト乳剤、カネマイトフロアブル、スターマイトフロアブルはチャノホコリダニにも登録がある。 4. ハダニ類の多いほ場には、バロックフロアブル2,000倍（5 ml／10 ℓ）〔前日まで／ 1 回〕ダニトロンフロアブル2,000倍（5 ml／10 ℓ）〔前日まで／ 1 回〕ダニサラバフロアブル1,000倍（10ml／10 ℓ）〔前日まで／ 2 回以内〕を使用してもよい。	
		6	コロマイト乳剤 1,500倍（6.6ml／10 ℓ）〔前日まで／ 2 回以内〕			
		25A	スターマイトフロアブル 2,000倍（5 ml／10 ℓ）〔前日まで／ 1 回〕			
		20D	マイトコーネフロアブル 1,000倍（10ml／10 ℓ）〔前日まで／ 1 回〕			
9	アブラムシ類	4A	モスビラン顆粒水溶剤 [㊟] 4,000倍（2.5 g／10 ℓ）〔前日まで／ 3 回以内〕	のいずれかを10 a 当たり150～300 ℓ 散布する。	1. 合成ビレスロイド剤（アーデント水和剤）は、抵抗性害虫出現回避のため同一ほ場における総使用回数は2回以内とする。 2. 合成ビレスロイド剤は、蚕・魚類に対する毒性が特に強いので注意する。 3. モスビラン顆粒水溶剤 [㊟] は、アザミウマ類にも登録がある。 4. ウララD Fは、ミカンキイロアザミウマにも登録がある。 5. コルト顆粒水和剤はカスミカメムシ類にも登録がある。 6. コルト顆粒水和剤はミツバチの活動に影響を及ぼす恐れがあるので、ミツバチ放飼期間中は使用を避ける。	
		3A	アーデント水和剤 1,000倍（10 g／10 ℓ）〔前日まで／ 4 回以内〕			
		9B	チェス顆粒水和剤 5,000倍（2 g／10 ℓ）〔前日まで／ 3 回以内〕			
		29	ウララD F 2,000倍（5 g／10 ℓ）〔前日まで／ 3 回以内〕			
		9B	コルト顆粒水和剤 4,000倍（2.5 g／10 ℓ）〔前日まで／ 3 回以内〕			
月	アザミウマ類	6	アフーム乳剤 2,000倍（5 ml／10 ℓ）〔前日まで／ 2 回以内〕	のいずれかを10 a 当たり100～300 ℓ 散布する。	1. ダブルシューターS Eは、ハダニ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類、オオタバコガにも登録がある。 2. ディアナS C、ダブルシューターS Eは、同一系統とみなし連用は避け、総使用回数は2回以内とする。 3. モベントフロアブルは、アブラムシ類、ハダニ類、うどんこ病にも登録がある。	
		30	グレーシア乳剤 2,000倍（5 ml／10 ℓ）〔前日まで／ 2 回以内〕			
		5	ディアナS C 2,500倍（4 ml／10 ℓ）〔前日まで／ 2 回以内〕			
		5	ダブルシューターS E 1,000倍（10ml／10 ℓ）〔前日まで／ 2 回以内〕			
		23	モベントフロアブル 2,000倍（5 ml／10 ℓ）〔前日まで／ 3 回以内〕			
9 月	ヨ ト ウ ム シ tentウムシダマシ類	13	コテツフロアブル [㊟] 2,000倍（5 ml／10 ℓ）〔前日まで／ 4 回以内〕を10 a 当たり100～300 ℓ 散布する。		1. コテツフロアブル [㊟] はハダニ類、チャノホコリダニ、ミカンキイロアザミウマ、オオタバコガにも登録がある。	
	オオタバコガ ハスモンヨトウ	28	フェニックス顆粒水和剤 2,000倍（5 g／10 ℓ）〔前日まで／ 3 回以内〕	のいずれかを10 a 当たり100～300 ℓ 散布する。	1. プレオフロアブル、プレバソンフロアブル5は、ハモグリバエ類にも登録がある。 2. アクセルフロアブルはニジュウヤホシtentウにも登録がある。	
		UN	プレオフロアブル 1,000倍（10ml／10 ℓ）〔前日まで／ 4 回以内〕			
		28	プレバソンフロアブル5 2,000倍（5 ml／10 ℓ）〔前日まで／ 2 回以内〕			
22B	アクセルフロアブル 1,000倍（10ml／10 ℓ）〔前日まで／ 3 回以内〕					
月	カ メ ム シ 類	4A	スタークル顆粒水溶剤 2,000倍（5 g／10 ℓ）〔前日まで／ 2 回以内〕を10 a 当たり100～300 ℓ 散布する。		1. スタークル顆粒水溶剤はアブラムシ類（3,000倍）、アザミウマ類にも登録がある。	
	ナ メ ク ジ 類 カタツムリ類	－	スラゴ 1 ～ 5 g／㎡（発生時／－）		1. ナメクジ類、カタツムリ類の発生あるいは加害を受けた場所又は株元に配置する。	
9 8 月	う ど ん こ 病	9	フルピカフロアブル 2,000倍（5 ml／10 ℓ）〔前日まで／ 4 回以内〕	のいずれかを10 a 当たり150～300 ℓ 散布する。	1. 排水対策をはかる。 2. 湿度の高いときに発生しやすい。 3. アミスター20フロアブルは、りんごに葉害があるので飛散しないように注意する。 高温多湿下での散布により新展開葉に葉害が発生する場合があるので注意する。 また、浸透性を高める効果のある展着剤を使用すると葉害の恐れがあるので展着剤は加用しない。 4. フルピカフロアブルは、灰色かび病にも登録がある。ただし、おうとうに葉害が生じるので飛散しないように注意する。	
11		アミスター20フロアブル 2,000倍（5 ml／10 ℓ）〔前日まで／ 4 回以内〕				
M7		ベルクートフロアブル 2,000倍（5 ml／10 ℓ）〔前日まで／ 3 回以内〕				
3,U6		パンチョT F 顆粒水和剤 2,000倍（5 g／10 ℓ）〔前日まで／ 2 回以内〕				
月 5						

除草剤使用基準（露地栽培に限る）

	RAC	薬 剤 名	10 a 当り薬量／散布量	使 用 時 期	使 用 方 法	使用回数	適用雑草	特 性
処土 理 剤 境	3	クレマート乳剤	200 ～ 400ml／ 100 ～ 150 ℓ	定植前又は定植・マルチ前（雑草発生前）	全面土壤散布	1 回	一年生雑草	・ガス化しないのでマルチ栽培で使える
処茎 理 剤 葉	10	バスタ液剤	300 ～ 500ml／ 100 ～ 150 ℓ	雑草生育期定植前又は畦間処理 ただし収穫前日まで	雑草茎葉散布	3 回以内	一年生雑草	・非選択性、スギナに効果高い

農薬の使用にあたっては、使用回数に加え、有効成分ごとの総使用回数も定められているので遵守する。

成 分 名	農 薬 名	使用回数	同一成分総使用回数	備 考
イミノクタジン	ダイアメリットD F	3 回以内	3 回以内	
	ベルクートフロアブル	3 回以内		

展 着 剤

薬 剤 名	散布液 100 ℓ 当たり使用量(希釈倍数)	使用方法	注 意 事 項
サブマージ	33ml (3,000 倍)	添加	本剤ラベルの記載事項を十分お読みください。
まくびか	33ml (3,000 倍)		